

令和7年度 国語科 「現代の国語」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科1年1～3組 家政科1年4組
教科書	高等学校 現代の国語 (第一学習社)	副教材等	新訂国語図説(啓隆社) 基本級別漢字(浜島書店) 学習改訂常用漢字(富士出版)

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料等
4	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する方法を学ぶ。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 	理解編 思考力 判断力を培う1	『「生きもの」として生きる』 中村桂子 評論のしるべ	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
5	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する方法を学ぶ。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 	理解編 思考力 判断力を培う1	『羅生門』 芥川龍之介 文学のしるべ	<ul style="list-style-type: none"> ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・比喩などの修辞を理解する。 ・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。 ・事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する方法を学ぶ。 	理解編 思考力 判断力を培う1	『「間」の感覚』 高階秀爾	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ 中間考査
6	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する方法を学ぶ。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 	理解編 思考力 判断力を培う1	『水の東西』 山崎正和 評論のしるべ	<ul style="list-style-type: none"> ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出 説明文の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

<p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する方法を学ぶ。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 	<p>理解編 思考力 判断力を培う 2</p>	<p>『砂に埋もれたル・コルビュジエ』 原田マハ 文学のしるべ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 ・父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取るなどして、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 	<p>授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 説明文の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、話（文章）の構成や展開を工夫する方法を学ぶ。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特徴を理解し、活用する。 	<p>表現編 伝え合う力を培う 話して伝える 書いて伝える</p>	<p>話し方の工夫 待遇表現 論理的な表現 書き方の基礎 レッスン 身近な製品の取扱説明書を作成する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 ・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 ・敬語表現が選択される視点を理解する。 ・論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 ・説得力を意識した表現の仕方について理解する。 ・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・接続表現の種類や用法を理解する。 ・比喩などの表現技法を理解する。 ・情報を的確に説明する方法を理解する。 ・情報を相手にわかりやすく説明する方法を理解する。 ・わかりやすい説明を実践できるようになる。 ・常用漢字を読み書きできるようにする。 <p>既習事項等</p>	<p>授業態度 発問評価 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ</p> <p>小テスト 期末考査</p>
<p>9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する方法を学ぶ。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 	<p>理解編 思考力 判断力を培う 3</p>	<p>『無彩の色』 港千尋 評論のしるべ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・日本文化について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 	<p>授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ</p>
<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する方法を学ぶ。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 	<p>理解編 思考力 判断力を培う 3</p>	<p>『夢十夜』 夏目漱石 文学のしるべ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・比喩や言い換えなどの修辞を理解する。 ・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 	<p>授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出 説明文の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。 ・事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する方法を学ぶ。 ・情報と情報との関係を理解する。 	<p>理解編 思考力 判断力を培う 論理分析 【事実と意見】</p>	<p>『「私作り」とプライベートライバシー』 阪本俊生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 <p>既習事項等</p>	<p>授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ</p> <p>中間考査</p>

11	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する方法を学ぶ。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 	<p>理解編 思考力 判断力を培う 4</p>	<p>『フェアな競争』 内田樹 評論のしるべ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 	<p>授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する方法を学ぶ。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 	<p>理解編 思考力 判断力を培う 4</p>	<p>『鏡』 村上春樹 文学のしるべ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解くなどして、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・比喩や言い換えなどの修辞を理解する。 ・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 	<p>授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 説明文の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、話（文章）の構成や展開を工夫する方法を学ぶ。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特徴を理解し、活用する。 	<p>表現編 伝え合う力を培う 話して伝える 書いて伝える</p>	<p>情報の探索と選択 情報源の明示 スピーチで自分を伝える 実用的な手紙文の書き方 地域の魅力を紹介する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を探す方法を理解する。 ・情報の信頼性や妥当性の吟味の仕方を理解する。 ・情報の探索と選択を実践できるようになる。 ・引用の目的とその効用を理解する。 ・引用の具体的な方法を理解する。 ・引用を適切に活用できるようになる。 ・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 ・実用的な手紙文として、依頼文と案内文の書き方を理解し、実践する。 ・相手に情報を適切に伝える文章の書き方を習得する。 ・情報を的確に紹介する方法を理解する。 ・必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすい紹介文を書くために活用する方法を理解する。 ・常用漢字を読み書きできるようにする。 <p>常漢テスト 期末考査 既習事項等</p>	<p>授業態度 発問評価 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ</p> <p>小テスト 期末考査</p>
1	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する方法を学ぶ。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 	<p>理解編 思考力 判断力を培う 5</p>	<p>『ロビンソンの人間と自然』 村岡晋一 評論のしるべ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ロビンソン・クルーソー」を例として取り上げた筆者の意図を理解したうえで、主張を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・自然に対する人間の態度について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 	<p>授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ</p>

2	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する方法を学ぶ。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 	理解編 思考力 判断力を培う 5	『城の崎にて』 志賀直哉 文学のしるべ	<ul style="list-style-type: none"> ・三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深めるなどして、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 説明文の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	<ul style="list-style-type: none"> ・文章や図形に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・異なる形式で書かれた複数の文章や、図表等を読み、理解したことをまとめる。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解し、活用する。 	理解編 思考力 判断力を培う 6	学校新聞の記事内容を検討する	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた資料と会話文を関連づけながら、課題に即して必要な情報を読み取り、活用する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・異なる形式で書かれた複数の文章を読み、理解したことをまとめる。 ・読み手からの助言などを踏まえて、目的に応じて書かれているかを確認、書き直す手順を学ぶ。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解し、活用する。 	授業態度 発問評価 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ
	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。 ・事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する方法を学ぶ。 ・情報と情報との関係を理解する。 	理解編 思考力 判断力を培う 論理分析 【主張と根拠】	『デザインの本意』 原研哉	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を分析的に読み、根拠の妥当性と主張との関係を理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する方法を学ぶ。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 要約文の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするともに、話（文章）の構成や展開を工夫する方法を学ぶ。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特徴を理解し、活用する。 	表現編 伝え合う力を培う 話して伝える 書いて伝える	相手に伝わる案内をする 理想の修学旅行をプレゼンする 合意形成のための話し合いを行う 自校の生徒の生活実態を調査する 社会に対する意見文を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に沿って的確に案内する方法を理解する。 ・相手に配慮しながら案内する方法を理解する。 ・情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。 ・効果的なスライドの作り方を理解する。 ・話し合いの進め方のルールを理解する。 ・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いを実践する。 ・相手と目的に応じた報告文のあり方を理解する。 ・目的に沿った調査の方法を理解し、実践する。 ・意見文とはどういうものかを理解する。 	授業態度 発問評価 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ
			常漢テスト 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字を読み書きできるようにする。 既習事項等	小テスト 学年末考査

3 評価の観点

知識・技能	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。
思考・判断・表現	【話す能力】 目的や場に応じて実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 【聞く能力】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度など、文章の構成や展開を考えて工夫している。 【読む能力】 文章の種類をふまえて内容や構成、論理の展開などについて、叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。
主体的に学習に取り組む態度	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけようとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

- ・国語便覧や辞書を必ず用意してください。
- ・現代文はあらかじめ本文を読み、難しい言葉の意味は調べておきましょう。
- ・毎日の授業を大切にすることはもちろんですが、普段から新聞や書物などを読み、できるだけ多くの文章にふれるよう心がけましょう。
- ・年10回の常用漢字テストにしっかり取り組みましょう。

令和7年度 国語科 「言語文化」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科1年1～3組 家政科1年4組
教科書	高等学校 言語文化（第一学習社）	副教材等	古典文法ワークノート（第一学習社） 新訂国語図説（啓隆社）

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料等
4	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、理解を深める。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 課題に応じて調査する方法を学ぶ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文語の決まりを理解する。 時間の経過による文字の変化について理解する。 	古文入門	宇治拾遺物語 「児のそら寝」他	<ul style="list-style-type: none"> 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
5			古文を読むために1 古文を読むために2 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 品詞の種類について、文語のきまりを理解する。 既習事項等	中間考査
6	<ul style="list-style-type: none"> 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 	漢文入門	訓読に親しむ（一）～（三） 漢文を読むために1～5	<ul style="list-style-type: none"> 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字の働きと使い方、再読文字の種類と読み方を習得する。 	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
7	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 課題に応じて調査する方法を学ぶ。 作品の歴史的、文化的背景を理解する。 訓読のきまりを理解する。 古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 	故事成語	（戦国策） 「漁夫之利」他 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 作品の歴史的・文化的背景を理解する。 訓読のきまりを理解する。 故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 既習事項等	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ 期末考査

9	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、理解を深める。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 課題に応じて調査する方法を学ぶ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文語の決まりを理解する。 時間の経過による文字の変化について理解する。 	歌物語	伊勢物語 「筒井筒」他 古文を読むために3	<ul style="list-style-type: none"> 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。 	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
10	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、理解を深める。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 課題に応じて調査する方法を学ぶ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文語の決まりを理解する。 時間の経過による文字の変化について理解する。 	随筆（一）	枕草子 「中納言参り給ひて」他 古文を読むために4 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 主として助動詞について、文語のきまりを理解する。 	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ 中間考査
11	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、理解を深める。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 課題に応じて調査する方法を学ぶ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文語の決まりを理解する。 	日記	土佐日記 「門出」他 古文を読むために5	<ul style="list-style-type: none"> 我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と随筆意図を読み解く。 女性に仮託して書かれた日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主として助詞について文語のきまりを理解する。 	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
12	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、理解を深める。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 課題に応じて調査する方法を学ぶ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文語の決まりを理解する。 歴史的な文体の変化について理解する。 	軍記物語	平家物語 「木曾の最期」他 古典のしるべ	<ul style="list-style-type: none"> 合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。 軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主として敬語について文語のきまりを理解する。 「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について理解する。 	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ ・和漢混交文について学ぶ

12	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 課題に応じて調査する方法を学ぶ。 <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 訓読のきまりを理解する。 古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 	史伝	十八諸略 「完璧」他	<ul style="list-style-type: none"> 史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた蘭相如の考えや人物像を読み取る。 史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 「瀧池の会」と読み比べ、課題に応じて調査する。 訓読のきまりを理解する。 「完璧」の由来を知り、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、理解を深める。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 課題に応じて調査する方法を学ぶ。 <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文語の決まりを理解する。 時間の経過による文字の変化について理解する。 	随筆（二）	徒然草 「丹波に出雲といふ所あり」他	<ul style="list-style-type: none"> 『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 主として敬語について文語のきまりを理解する。 	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、理解を深める。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 和歌を書き換えて、互いの解釈を比べ合う方法を学ぶ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 文語の決まりを理解する。 	古典の詩歌	万葉集 他	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、発展期の和歌の特色を捉える。 和歌という文章の種類を踏まえて、理論的に表現された情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 主として掛詞・縁語・見立てなどの和歌の修辞について、文語のきまりを理解する。 	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
	<ul style="list-style-type: none"> 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 折句を用いて、感じたことを短歌で表す方法を学ぶ。 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 	近現代の詩歌	その子二十 他	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉える方法を学ぶ。 我が国の伝統文化について書かれた文章を読み、関連する事項について調べたことを整理して説明資料にまとめ、発表する方法を学ぶ。 我が国の伝統文化に関する題材を選んで、随筆に書き表す方法を学ぶ。 言葉には、文化の継承を支えるはたらきがあることを理解する。 	伝統と文化	『祭りの笛』 三浦哲郎	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統行事について書かれた文章を読んで、内容を効果的に伝えるための筆者の工夫を理解する。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

2	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・作品の歴史的、文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 	漢詩	唐詩「春暁」他	<ul style="list-style-type: none"> ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・課題に応じて調査する方法を学ぶ。 ・訓読のきまりを理解する。 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 	思想	論語	<ul style="list-style-type: none"> ・日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解する。 ・文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・孔子のエピソードを調べて文章にまとめる課題に応じて調査する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・課題に応じて調査する方法を学ぶ。 ・訓読のきまりを理解する。 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 	文章	「桃花源記」	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の散文作品に触れて読みに慣れるとともに、桃源郷の由来ともなった理想郷のあり方を理解する。 ・文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・『老子』の「小国寡民」と読み比べる課題に応じて調査する。 ・訓読のきまりを理解する。 	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
			学年末考査	既習事項等	学年末考査

3 評価の観点

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
思考・判断・表現	<p>【話す能力】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【聞く能力】読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度など、文章の構成や展開を考えて工夫している。</p> <p>【読む能力】文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。</p>
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に評価する

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

- ・国語便覧や辞書、古典文法のテキストを必ず用意してください。
- ・古文はあらかじめ本文を読み、難しい言葉の意味は調べておきましょう。
- ・古文・漢文については、本文を必ずノートに書き写しておきましょう。
- ・ノートやプリントは、板書を機械的に写すのではなく、疑問点や共感する点など同時に記録しておくといでしょう。
- ・古典は単に現代語訳するだけではなく、作者や登場人物の思想や感情を読み取り、自分のものの見方、感じ方、考え方の参考にしようとする姿勢が大切です。

令和7年度 地理歴史科 「地理総合」 シラバス

単位数	2 単 位	学科・学年・学級	普通科・家政科 1 年 1～4組
教科書	「高等学校新地理総合」(帝国書院) 「標準高等地図」(帝国書院)	副教材等	新編フォトグラフィア地理図説(東京法令出版社)

1 学習の到達目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけます。

(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。

(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深めます。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類	1. 地球上の位置と私たちの生活	・緯度の違いは私たちのどのような影響を与えているかを学びます。	学習活動への参加の仕方や態度・発表の仕方や工夫を評価する
			2. 時差と私たちの生活	・時刻の違い(時差)は、私たちの生活にどのような影響を与えているかを学びます。	
	5	第2章 結びつきを深める現代世界 1節 現代社会の国家と領域 2節 グローバル化する世界	1. 地球儀と地図	・地図の様々な図法について学びます。	レポート発表及び提出
2. 身の回りの地図			・主観図と一般図の表現方法や用途について学びます。		
5	5	1節 現代社会の国家と領域 2節 グローバル化する世界	3. 統計地図の種類と利用	・統計地図にはどのような種類があり、どのように使い分けられているかを学びます。	ノート提出
			4. 地理情報システムの活用	・地理情報システムの活用方法を学びます。	
中間考査					
5	5	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活	序説 生活文化の多様性 1. 大地形と人々の生活 2. 変動帯と人々の生活 3. 安定地域と人々の生活 4. 河川がつくる地形と人々の生活	・世界各地の多様な生活文化を考察する方法を学びます。 ・大地形は、人々の生活とどのような関わりを持っているかを調べます。 ・変動帯の地形は、人々の生活にどのような影響を与えているかを考えます。 ・安定地域の地形は、人々の生活に与える影響を調べます。 ・河川がつくる地形は、人々の生活に与えている影響を学びます。	学習活動への参加の仕方や態度・発表の仕方や工夫を評価する

	6	2節 世界の気候と人々の生活	<p>5. 海岸の地形と人々の生活</p> <p>6. 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活</p> <p>1. 気温・降水と人々の生活</p> <p>2. 大気大循環と人々の生活</p> <p>3. 世界の植生と気候区分</p> <p>4. 熱帯の生活</p> <p>5. 乾燥帯の生活</p> <p>6. 温帯の生活</p> <p>7. 亜寒帯・寒帯の生活</p>	<p>・海岸がつくる地形には、人々の生活に与えている影響を理解します。</p> <p>・氷河・乾燥・カルスト地形の種類と、人々の生活の関係を学びます。</p> <p>・気温や降水は人々の生活にどのような影響を考えます。</p> <p>・風は、人々の生活にどのような影響を学びます。</p> <p>・世界の植生は、気候とどのように関わり合っているのかを調べます。</p> <p>・熱帯の気候・植生と人々の生活との関わり理解します。</p> <p>・乾燥帯の気候・植生と人々の生活との関わり理解します。</p> <p>・温帯の気候・植生と人々の生活との関わり調べます。</p> <p>・亜寒帯・寒帯の気候と植生は、人々の生活とどのように関わりについて特徴に注目します。</p>	
	7	<p>追求事例 自然1 乾燥した大陸と太平洋の島々での生活</p> <p>追求事例 自然2 モンスーンの影響を受ける地域での生活</p> <p>3節 世界の言語・宗教と人々の生活</p> <p>追求事例 宗教1 イスラームと人々の生活の関わりー中央アジア・西アジア・北アフリカ</p> <p>追求事例 宗教2 ヒンドゥー教と人々の生活の関わりーインド</p>	<p>1. 人々をひきつける多様な自然環境</p> <p>2. 自然環境を生かした産業と人々の生活</p> <p>1. モンスーンの影響を受けてきた人々の生活</p> <p>2. 気候を生かした農業と人々の生活</p> <p>1. 世界の言語と人々の生活文化</p> <p>2. 世界の宗教と人々の生活文化</p> <p>1. イスラームを中心とした生活文化</p> <p>2. 乾燥地域で暮らすムスリムの生活文化</p> <p>3. 変化するムスリムの生活</p> <p>1. インドの歩みとヒンドゥー教</p> <p>2. 宗教や自然環境の影響を受けるインドの食生活</p> <p>3. 変化するヒンドゥー教徒の生活</p>	<p>・多様な自然環境は、人々の暮らしにどのような影響を与えていることを理解します。</p> <p>・オセアニアの人々は、自然環境をどのように産業に生かしているのかを調べます。</p> <p>・季節風(モンスーン)は、東南アジアの人々の生活にどのような影響を与えているのかを考えます。</p> <p>・東南アジアでは、気候を生かしてどのような農業が発達してきたのかを調べます。</p> <p>・言語は、人々の生活にどのような影響を与えているのかを理解します。</p> <p>・宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているのかを学びます。</p> <p>・イスラームは、人々の生活に与える影響について調べます。</p> <p>・乾燥地域で暮らすムスリムは、どのような生活文化を育んできたのかを学びます。</p> <p>・国の経済が発展するなかで、ムスリムの生活はどのように変化しているのかを国ごとに調べて比較します。</p> <p>・ヒンドゥー教は、人々の職業や社会進出にどのような影響を与えているのかを学びます。</p> <p>・ヒンドゥー教や自然環境は、人々の食生活にどのような影響を与えているのかを理解します。</p> <p>・経済成長により、ヒンドゥー教の影響を受けた生活は、どのように変化しているのかかんがえます。</p>	<p>レポート発表及び提出</p> <p>ノート提出</p>
期末考査					
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	4節 歴史的背景と人々の生活	1. 歴史的背景が人々の生活に与える影響	さまざまな歴史的背景は、人々の生活にどのような影響を与えてきたのかを理解します。	学習活動への参加の仕方や態度・発表の仕方や工夫を評価する
		追求事例歴史1 移民の歴史と人々の生活の関わりーラテンアメリカ	1. ヨーロッパ社会の影響が強い文化	さまざまな民族の流入は、人々の生活文化に影響を与えていることを学びます。	
			2. 大土地所有制が生み出した社会構造	ヨーロッパから持ち込まれた大土地所有制によって、生まれた社会を調べます。	
			3. 外国資本による工業化と生活の変化	外国資本による工業化が、与えた影響を各国のデータを参考に比較します。	

第2学期	<p>追究事例歴史2 植民地支配の歴史と人々の生活の関わり -サハラ以南アフリカ-</p> <p>追究事例歴史3 国家体制の変化と人々の生活の関わり-ロシア-</p> <p>5節 世界の産業と人々の生活</p>	<p>1. 生活文化に残る旧宗主国の影響</p> <p>2. 植民地支配の影響が残るアフリカの産業</p> <p>3. 人々の生活の変化と経済成長への取り組み</p> <p>1. 国家体制の変化が人々の生活に与えた影響</p> <p>2. 変化するロシアの産業</p> <p>1. 人々の生活を支える農業の発展</p> <p>2. 人々の生活を支える工業の発展</p> <p>3. グローバル化する現代の産業と人々の生活</p>	<p>・植民地支配の歴史は、人々の生活文化にどのような影響を与えているかを学びます。</p> <p>・植民地支配の歴史が、現在のアフリカの産業に与えた影響を考えます。</p> <p>・人々の生活はどのように変わり、経済成長に向けてどのような取り組みが行われているのかを調べます。</p> <p>・国家体制が激変したロシアでは、人々の生活に生じた変化を学びます。</p> <p>・国家体制が変わるなかで、ロシアの産業の変化を調べます。</p> <p>・農業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えているのかを考えます。</p> <p>・工業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えているのかを考えます。</p> <p>・産業のグローバル化は、人々の生活にどのような影響を与えているのかを比較・考察します。</p>	レポート発表及び提出
	<p>10</p> <p>追究事例 産業1 産業力が世界の生活文化に与える影響 -アメリカ合衆国-</p> <p>追究事例 産業2 経済成長による人々の生活の変化 -東アジア-</p> <p>追究事例 産業3 地域統合が人々の生活や産業に与える影響 -ヨーロッパ-</p>	<p>1. 世界に大きな影響力をもつ知識産業と資源</p> <p>2. 世界の食卓に影響を与える農業</p> <p>3. 産業の発展を支えてきた移民の力</p> <p>1. 東アジアの経済成長とその歩み</p> <p>2. 経済成長による中国の生活の変化</p> <p>3. 経済成長による韓国の生活の変化</p> <p>1. EU統合と人々の生活</p> <p>2. EU統合による農業への影響</p> <p>3. EU統合による工業や社会への影響</p>	<p>・アメリカ合衆国の知識産業や鉱工業は、世界にどのような影響を与えているのかを考えます。</p> <p>・アメリカ合衆国の農業は、世界の人々の食生活や農業が与えている影響を調べます。</p> <p>・アメリカ合衆国の産業力は、どのような社会的背景の下で育まれてきたのかを理解します。</p> <p>・東アジアの国・地域は、どのような歩みを経て、経済成長を遂げてきたのかを学びます。</p> <p>・経済成長によって、中国の人々の生活はどのように変化したのかを周辺の国と比較します。</p> <p>・経済成長によって、韓国の人々の生活はどのように変化したのかを考えます。</p> <p>・ヨーロッパの国々が、国境を越えた結び付きを強めているを理解します。</p> <p>・EUの統合は、ヨーロッパの農業にどのような影響を与えたかについて考えます。</p> <p>・EUの統合が、ヨーロッパの工業や社会にどのような影響を与えたのか調べます。</p>	ノート提出
	中間考査			
10	<p>第2章 地球的課題と国際協力</p> <p>1節 複雑に絡み合う地球的課題</p> <p>2節 地球環境問題</p> <p>3節 資源・エネルギー問題</p>	<p>1. 相互に関連する地球的課題とその解決に向けて</p> <p>1. 多様な地球環境問題</p> <p>2. 熱帯林の破壊への対策</p> <p>3. 地球温暖化への対策</p> <p>1. 世界のエネルギー・鉱産資源</p> <p>2. エネルギー利用の現状と課題</p> <p>3. 地域で異なるエネルギー問題への取り組み</p>	<p>・地球的課題の解決に向けて、どのような取り組みが行われているのかを理解します。</p> <p>・地球環境問題にはどのような種類があり、どのような原因で発生するのかを調べます。</p> <p>・熱帯林の破壊は、どこで、どのような理由で進行している状況を把握し、対策を考えます。</p> <p>・地球温暖化はなぜ起こり、環境に及ぼす影響について理解します。</p> <p>・エネルギー資源や鉱産資源は、どのように利用されているかを調べます。</p> <p>・エネルギーの利用にはどのような課題があり、解決する方法を話し合います。</p> <p>・各地のエネルギー問題への取り組みの特徴を比較します。</p> <p>・世界の人口分布や人口増加には、どのような傾向があるのかを考えます。</p> <p>・発展途上国と先進国の人口問題についての違い比較します。</p> <p>・人口問題への取り組みは、インドとフランスではどのように異なるのだろうかを比較して理解します。</p>	学習活動への参加の仕方や態度・発表の仕方や工夫を評価する
11	<p>4節 人口問題</p>	<p>1. 世界の人口</p> <p>2. 発展途上国と先進国の人口問題</p> <p>3. 地域で異なる人口問題への取り組み</p>	<p>・世界の人口分布や人口増加には、どのような傾向があるのかを考えます。</p> <p>・発展途上国と先進国の人口問題についての違い比較します。</p> <p>・人口問題への取り組みは、インドとフランスではどのように異なるのだろうかを比較して理解します。</p>	レポート発表及び提出

第2学期	12	5節 食料問題 6節 都市・居住問題	1. 飢餓と飽食 2. 地域で異なる食料問題への取り組み 1. 世界の都市の発展 2. 発展途上国と先進国の都市・居住問題 3. 地域で異なる都市・居住問題への取り組み	・飢餓や飽食の問題点を整理し、発生する原因を考えます。 ・食料問題への取り組みについて、地域間の違いをまとめ、比較・検討します。 ・世界の都市の発達や大都市の分布の傾向を調べます。 ・発展途上国と先進国の都市・居住問題の違いについて整理して、検討します。 ・都市・居住問題への取り組みは、メキシコシティとポートランドでどのように異なるのか理解します。	ノート提出
	期末考査				
第3学期	1	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境 2節 地震・津波と防災 3節 火山災害と防災	1. 日本の地形 2. 日本の気候 1. 地震・津波による災害 2. 地震・津波の被災地の取り組み 1. 火山の恵みと災害 2. 火山と共生する地域の取り組み	・日本の地形にはどのような特徴があり、どのようにして形成されたのかを学びます。 ・日本の気候にはどのような特徴があり、地域差はどのようにして生じているのか比較して、考察します。 ・地震・津波による被害は、地域によってどのような違いが生じているのか、資料から読みとります。 ・地震・津波に対して、どのような防災・減災の取り組みが行われているかを学びます。 ・火山は、人々の生活にどのような恵みや災害をもたらすのかを理解します。 ・火山と共生していくためには、どのような取り組みが必要かを話し合います。	学習活動への参加の仕方や態度・発表の仕方や工夫を評価する レポート発表及び提出
	2	4節 気象災害と防災 5節 自然災害への備え	1. さまざまな気象災害 2. 気象災害への取り組み 1. 減災の取り組み 2. 被災地への支援	・気象災害は、場所によっての違い比較して、検討します。 ・気象災害に対して、どのような取り組みや課題がみられるかを調べて、レポートにまとめます。 ・自然災害の被害を減らすためには、どのような取り組みがあるかを調べて、発表します。 ・自然災害の被災地には、どのような支援が必要なのだろうかを検討します。	
	3	第2章 生活圏の調査と地域の展望 1節 生活圏の調査と地域の展望	1. 地理的な課題と地域調査 2. 現地調査の準備 3. 現地調査の実施 4. 調査の分析と発表	・生活圏の地理的な課題を探究するためには、どのように調査を始めればよいのかを検討します。 ・現地調査の前には、どのように事前調査や調査計画の作成をすればよいのかの話し合います。 ・現地調査を効率的に行うには、どのような準備や行動が必要かを考え、話し合います。 ・調査結果をまとめて発表する際の工夫を考えて、レポートの作成や発表に取り入れます。	ノート提出
学年末考査					

3 評価の観点

知識・技能	・地理に関する諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域、地球的課題を理解している。 ・地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。
思考・判断・表現	・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との関係性や作用、地域に着目して多面的・多角的に考察している。 見出した地理的課題の解決の在り方などについて、考察、構想したことを効果的に説明することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・学習を通して明らかになった地理的課題を主体的に追究し、解決しようとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

・この1年間で終わる単独の学習と思わず、しっかり取り組んでください。地理の知識や考え方は、2年時普通科の公共・歴史総合や3年時家政科の歴史総合時にも欠かせないものです。進学・就職を問わず、進路に向けて時事を押さえる上でも重要です。
・受け身にならず、授業や予習復習に積極的に取り組みましょう。ただ話を聞き、ノートを写すだけではテスト前に暗記するだけのつまらない科目になってしまいます。理解しよう、覚えようという意識を持って参加することが大切です。

令和7年度 数学科 「 数学 I 」 シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科・1年・1組～3組
教科書	最新数学I（数研出版）	副教材等	3ROUND 数学I+A（数研出版）

1 学習の到達目標

<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
--

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1章 数と式 第1節 数と式	1 多項式	<ul style="list-style-type: none"> ○単項式や多項式、次数、係数、項について理解する。 ○同類項をまとめて、多項式を降べきの順に整理する。 ○ある文字に着目して、多項式を降べきの順に整理する。 	<p>【学習状況観察】 授業への参加状況や態度を観察します。</p> <p>【課題への取組み】 提出されたプリントやノート・ワーク・レポートの内容等を評価します。</p> <p>【中間考査】 授業内容をどの程度理解しているか判断します。</p>
			2 多項式の加法・減法・乗法	<ul style="list-style-type: none"> ○多項式の加法・減法は、同類項をまとめることによってできることを理解する。 ○指数法則を理解し、計算に用いる。 ○分配法則を用いて、式を展開する。 ○展開の公式を用いて、式を展開する。 ○おきかえを利用し、多項式の展開の公式に帰着させる。 	
5	5	第2節 実数	3 展開の公式	<ul style="list-style-type: none"> ○おきかえを利用し、多項式の展開の公式に帰着させる。 ○式の形の特徴に着目して掛ける順番を工夫し、計算を簡単にする。 	
			4 式の展開の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○共通因数をみつけ、共通因数のくくり出しをする。 ○因数分解の公式を用いて、式を因数分解する。 ○多項式を適切な形に整理したり、おきかえなどを利用したりして、因数分解の公式に帰着させる。 	
6	6	第3節 1次不等式	5 因数分解	<ul style="list-style-type: none"> ○分数を循環小数で表す。 ○有理数と無理数の違い、および実数について理解する。 ○絶対値の意味と記号を理解する。 ○平方根の意味・性質を理解する。 ○平方根を含む式の計算をする。 ○分母の有理化の方法について理解する。 	
			6 色々な因数分解	<ul style="list-style-type: none"> ○分数を循環小数で表す。 ○有理数と無理数の違い、および実数について理解する。 ○絶対値の意味と記号を理解する。 ○平方根の意味・性質を理解する。 ○平方根を含む式の計算をする。 ○分母の有理化の方法について理解する。 	
6	6	第3節 1次不等式	7 実数	<ul style="list-style-type: none"> ○不等式の意味を理解し、数量の大小を不等式を用いて表す。 ○xの値の範囲を、数直線上に図示する。 ○不等式の性質における不等号の向きを判断する。 ○不等式の性質、1次不等式の解法を理解し、1次不等式を解く。 ○数直線を用いて、2つの不等式の共通範囲を求める。 ○連立不等式の解を、数直線を用いて表示し、解を求める。 ○$A < B < C$の形の不等式を連立不等式として解く。 	<p>【学習状況観察】 授業への参加状況や態度を観察します。</p> <p>【課題への取組み】 提出されたプリントやノート・ワーク・レポートの内容等を評価します。</p> <p>【期末考査】 授業内容をどの程度理解しているか判断します。</p>
			8 根号を含む式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ○不等式の意味を理解し、数量の大小を不等式を用いて表す。 ○xの値の範囲を、数直線上に図示する。 ○不等式の性質における不等号の向きを判断する。 ○不等式の性質、1次不等式の解法を理解し、1次不等式を解く。 ○数直線を用いて、2つの不等式の共通範囲を求める。 ○連立不等式の解を、数直線を用いて表示し、解を求める。 ○$A < B < C$の形の不等式を連立不等式として解く。 	
			中間考査	既習事項等	

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	7	第2章 集合と命題	1 集合と部分集合 2 共通部分, 和集合, 補集合 3 命題と集合 4 命題と証明 期末考査	○集合の要素であるかどうかを判定する。 ○集合を $\{ \}$ を用いて表す。 ○部分集合, 空集合, 2つの集合の包含関係を理解する。 ○共通部分, 和集合, 補集合を求める。 ○命題や条件の意味を理解する。 ○命題の真偽を, 集合や反例などを用いて判定する。 ○真である命題の逆は, 真であるとは限らないことを理解する。 ○必要条件, 十分条件の意味を理解する。 ○条件の否定を理解し, 否定を述べる。 ○ド・モルガンの法則を理解し, 「かつ」「または」の否定を述べる。 ○命題とその対偶の真偽が一致することを理解する。 ○対偶や背理法を用いて証明する。 既習事項等	【学習状況観察】 授業への参加状況や態度を観察します。 【課題への取り組み】 提出されたプリントやノート・ワーク・レポートの内容等を評価します。 【期末考査】 授業内容をどの程度理解しているか判断します。
第2学期	9	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ	1 関数 2 関数とグラフ 3 $y=ax^2$ のグラフ 4 $y=ax^2+q$ のグラフ 5 $y=a(x-p)^2$ のグラフ 6 $y=a(x-p)^2+q$ のグラフ 7 $y=ax^2+bx+c$ のグラフ 8 2次関数の最大・最小 9 2次関数の決定	○ x の関数 y が与えられたとき, x の値に対する y の値を求める。 ○ $y=f(x)$ や $f(x)$ の表記を理解し, 関数の値 $f(a)$ を求める。 ○座標平面について理解する。 ○関数のグラフをかく。 ○1次関数と直線について理解する。 ○2次関数の式が2次式で表されることを理解する。 ○2次関数 $y=ax^2$ のグラフの頂点, 軸について理解する。 ○2次関数 $y=ax^2+q$ のグラフの頂点, 軸について理解する。 ○放物線をかき, それを y 軸方向に平行移動させる。 ○2次関数 $y=a(x-p)^2$ のグラフの頂点, 軸について理解する。 ○放物線をかき, それを x 軸方向に平行移動させる。 ○2次関数 $y=a(x-p)^2+q$ のグラフの頂点, 軸について理解する。 ○放物線をかき, それを x 軸方向, y 軸方向に平行移動させる。 ○ $y=ax^2+bx+c$ のグラフをかくためには, $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形する必要があることを理解する。 ○ $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形し, そのグラフをかく。 ○グラフの平行移動を, x 軸方向, y 軸方向の用語を用いて表現する。 ○2次関数の最大値, 最小値を求める。 ○定義域が限られた場合において, 2次関数の最大値, 最小値を求める。 ○与えられた条件を関数の式に表現し, 2次関数を決定する。	【学習状況観察】 授業への参加状況や態度を観察します。 【課題への取り組み】 提出されたプリントやノート・ワーク・レポートの内容等を評価します。 【中間考査】 授業内容をどの程度理解しているか判断します。

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	10	第2節 2次方程式と 2次不等式	10 2次方程式 11 2次方程式のグラフとx軸の共有点 12 2次不等式 13 2次不等式の利用 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ○因数分解を用いて、2次方程式を解く。 ○2次方程式は、因数分解による解法が難しい場合に、解の公式を利用すれば、必ず解を求められることを理解する。 ○2次方程式の解の個数が判別式$D=b^2-4ac$の符号によって決まることを理解する。 ○2次方程式が実数解や重解をもつための条件を、判別式$D=b^2-4ac$の符号から求める。 ○2次関数のグラフとx軸との共有点のx座標を求める。 ○2次関数のグラフと、2次方程式の関係を理解する。 ○2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、$D=b^2-4ac$の値から考察する。 ○2次関数のグラフとx軸の位置関係の条件を$D=b^2-4ac$の符号から求める。 ○2次関数のグラフを利用して、2次不等式を解く方法を理解し、2次不等式を解く。 ○身近な問題を、2次不等式を用いて解決する。 <p>既習事項等</p>	<p>【学習状況観察】 授業への参加状況や態度を観察します。</p> <p>【課題への取組み】 提出されたプリントやノート・ワーク・レポートの内容等を評価します。</p> <p>【中間考査】 授業内容をどの程度理解しているか判断します。</p>
	11	第4章 図形と計量 第1節 三角比	1 鋭角の三角比 2 三角比の利用 3 三角比の相互関係 4 三角比の拡張 5 三角比が与えられたときの角	<ul style="list-style-type: none"> ○三角比は、直角三角形の辺の比であることを理解する。 ○直角三角形において$\sin A$, $\cos A$, $\tan A$の値を求める。 ○三角比の表を用いて、三角比の値や角を調べる。 ○三角比を使って、距離や高さを求める。 ○三角比の相互関係を用いて、三角比の1つの値から残り2つの三角比の値を求める。 ○$90^\circ - A$の三角比の公式を利用する。 ○鈍角の三角比の値を求める。 ○鈍角も含めて三角比の相互関係を用いて、三角比の1つの値から残り2つの三角比の値を求める。 ○$180^\circ - \theta$の公式を利用する。 ○座標を用いて、θの三角比の値からθを求める。 	<p>【学習状況観察】 授業への参加状況や態度を観察します。</p> <p>【課題への取組み】 提出されたプリントやノート・ワーク・レポートの内容等を評価します。</p> <p>【期末考査】 授業内容をどの程度理解しているか判断します。</p>
	12	第2節 正弦定理・余弦定理	6 正弦定理 7 余弦定理 8 三角形の面積 9 図形の計量 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ○正弦定理における$A=B=C=D$の関係式を適切に処理する。 ○正弦定理を用いて三角形の外接円の半径や辺の長さを求める。 ○余弦定理を用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求める。 ○2辺の長さとその間の角の大きさが与えられた三角形の面積を求める。 ○3辺の長さが与えられた三角形の面積を求める。 ○四角形を対角線で2つの三角形に分割して、面積を求める。 ○正弦定理や余弦定理を用いて、測量問題を解決する。 <p>既習事項等</p>	

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第5章 データの分析	1 データの整理	○度数分布表について理解し、度数分布表からデータの特徴を読み取る。 ○データを度数分布表に整理する。また、度数分布表をヒストグラムで表す。	【学習状況観察】 授業への参加状況や態度を観察します。 【課題への取組み】 提出されたプリントやノート・ワーク・レポートの内容等を評価します。 【学年末考査】 授業内容をどの程度理解しているか判断します。
	2		2 データの代表値 3 データの散らばり	○平均値や最頻値、中央値の定義や意味を理解し、それらを求める。 ○範囲の定義やその意味を理解し、それを求める。 ○四分位数の定義を理解し、それを求める。 ○四分位範囲の定義やその意味を理解し、それを求める。 ○データの分布と箱ひげ図の関係について理解する。 ○箱ひげ図をかく。 ○データの中のある値が外れ値であるかどうかを判断する。 ○偏差、分散、標準偏差の定義とその意味を理解する。	
	3		4 データの相関 5 相関係数 6 分割表 7 仮説検定の考え方 学年末考査	○分散、標準偏差に関する公式を用いて、これらを求める。 ○散布図、相関表を作成する。 ○相関係数の定義とその意味を理解し、定義に従ってそれを求める。 ○分割表の意味を理解し、数値の割合を計算して新たな表を作成する。 ○仮説検定の考え方を理解し、具体的な事象に当てはめて考える。 既習事項等	

3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・数と式、命題の条件や結論、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・命題の条件や結論に着目し、数と式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりしている。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現している。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連づけて考察している。 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決し、解決の過程や結果を批判的に考察し判断している。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

数学を学習する上で大切なことは、「考えること」です。なぜそのような解き方をするのか、なぜそのように計算するのか、なぜそれが答えになるのかなど、授業では「なぜ」を大切にしていきます。「考えること」は難しく面倒なことです。必ずみなさんの「生きる力」になります。数学が楽しいと思ってもらえるよう私も頑張りますので、みなさんも一緒に頑張りましょう。

令和7年度 数学科 「数学A」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・1年・1～3組
教科書	最新数学A（数研出版）	副教材等	3ROUND数学I+A（数研出版）

1 学習の到達目標

<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
--

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1章 場合の数と確率	1. 集合	<ul style="list-style-type: none"> 集合をそれぞれの場合に適した形で表す。 共通部分、和集合、補集合を求める。 	<p>【学習状況観察】 授業への参加状況や態度を観察します。</p> <p>【課題への取り組み】 提出されたプリントやノート・ワーク・レポートの内容等を評価します。</p> <p>【中間考査】 授業内容をどの程度理解しているか判断します。</p>
	5	第1節 場合の数	2. 集合の要素の個数 3. 樹形図、和の法則、積の法則	<ul style="list-style-type: none"> 要素を書き並べたりベン図を利用したりして集合の要素の個数を求める。 樹形図や和の法則、積の法則を用いて、場合の数をもれなく重複なく数える。 積の法則を利用して、自然数の正の約数の個数を求める。 	
			中間考査	既習事項等	
第1学期	6	第2節 確率	4. 順列	<ul style="list-style-type: none"> 順列の用語、記号、公式を理解し、具体的な問題に利用する。 	<p>【学習状況観察】 授業への参加状況や態度を観察します。</p> <p>【課題への取り組み】 提出されたプリントやノート・ワーク・レポートの内容等を評価します。</p> <p>【期末考査】 授業内容をどの程度理解しているか判断します。</p>
	7		5. 円順列と重複順列 6. 組合せ 7. 確率の意味 8. 確率の計算	<ul style="list-style-type: none"> 円順列と重複順列の用語、記号、公式を理解し、具体的な問題に利用する。 組合せの用語、記号、公式を理解し、組分けや同じものを含む順列の総数を求めるなど、具体的な問題に利用する。 確率の意味を理解する。 確率の定義に基づき、事象の確率を求める。 	
			期末考査	既習事項等	

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9 10	第2節 確率	9. 確率の基本性質 10. 和事象の確率 11. 余事象の確率 12. 独立な試行の確率 13. 反復試行の確率 14. 条件付き確率 15. 期待値 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 積事象, 和事象の意味を理解し, 具体的な事象に対して, 積事象, 和事象を集合で表す。 事象の排反の意味を理解し, 2つの事象が排反であるかを判断する。 確率の加法定理を用いて, 確率を求める。 一般の和事象の確率を求める。 余事象の確率の公式を利用して, 確率を求める。 独立な試行の確率を, 公式を用いて求める。 反復試行の確率を, 公式を用いて求める。 条件付き確率の定義, 意味を理解し, その確率を公式を用いて求める。 確率の乗法定理を用いて, 確率を求める。 期待値の定義を理解し, 確率の性質などに基づいて期待値を求める。 既習事項等	【学習状況観察】 授業への参加状況や態度を観察します。 【課題への取り組み】 提出されたプリントやノート・ワーク・レポートの内容等を評価します。 【中間考査】 授業内容をどの程度理解しているか判断します。
第2学期	11 12	第2章 図形の性質 第1節 三角形の性質	1. 角の二等分線と比 2. 三角形の外心, 内心, 重心 3. チェバの定理, メネラウスの定理 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 平行線の性質を用いて, 線分の長さを求める。 線分の内分と外分を理解し, 内分する点と外分する点を図示する。 三角形の内角, 外角の二等分線の性質を用いて, 線分の長さを求める。 外心, 内心, 重心の性質を用いて, 具体的な問題を処理する。 チェバ, メネラウスの定理を用いて, 線分比を求める。 既習事項等	【学習状況観察】 授業への参加状況や態度を観察します。 【課題への取り組み】 提出されたプリントやノート・ワーク・レポートの内容等を評価します。 【期末考査】 授業内容をどの程度理解しているか判断します。

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第3学期	1	第2節 円の性質	4. 円周角の定理	<ul style="list-style-type: none"> 円周角の定理を用いて、角の大きさを求める。 円周角の定理の逆を用いて、4点が同一円周上にあることを調べる。 	<p>【学習状況観察】 授業への参加状況や態度を観察します。</p> <p>【課題への取り組み】 提出されたプリントやノート・ワーク・レポートの内容等を評価します。</p> <p>【学年末考査】 授業内容をどの程度理解しているか判断します。</p>	
			5. 円に内接する四角形	<ul style="list-style-type: none"> 円に内接する四角形の性質を用いて、角の大きさを求める。 四角形が円に内接するかどうか調べる。 		
			6. 円と接線	<ul style="list-style-type: none"> 円の接線の性質を用いて、辺や線分の長さを求める。 		
			7. 接線と弦の作る角	<ul style="list-style-type: none"> 接線と弦の作る角の定理を利用して、角の大きさを求める。 		
			8. 方べきの定理	<ul style="list-style-type: none"> 方べきの定理を用いて、線分の長さを求める。 		
	2	第3節 作図	9. 2つの円	<ul style="list-style-type: none"> 2円の位置関係について調べる。 2円の共通接線について理解し、その長さを求める。 		
			10. 基本の作図	<ul style="list-style-type: none"> 垂線を引く、垂直二等分線を引く、角の二等分線を引くなどの基本的な作図を行う。 		
			11. いろいろな作図	<ul style="list-style-type: none"> 円周角の定理を利用して、円の外部の点を通る円の接線を作図する。 平行線と比の性質を利用して、線分を内分する点を作図する。 		
			第4節 空間図形	12. 空間における直線と平面		<ul style="list-style-type: none"> 空間における2直線の位置関係に2つの場合があることや、2直線のなす角を理解し、それらの問題を処理する。 直線と平面の位置関係に3つの場合があることを理解し、問題を処理する。 ある直線1が平面上の2直線に垂直のとき、直線1と平面が垂直であることを理解する。 2平面の位置関係に2つの場合があることを理解する。 2平面のなす角を理解し、問題を処理する。
				13. 多面体		<ul style="list-style-type: none"> 5種類の多面体の特徴を理解し、それに基づいて面、頂点、辺の数を求める。 オイラーの多面体定理が成り立つことを簡単な多面体で確かめる。 正多面体どうしの関係を利用して、正多面体の体積を求める。
		学年末考査	既習事項等			

3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力を身に付けている。 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

数学を学習する上で大切なことは、「考えること」です。なぜそのような解き方をするのか、なぜそのように計算するのか、なぜそれが答えになるのかなど、授業では「なぜ」を大切にしていきます。「考えること」は難しく面倒なことですが、必ずみなさんの「生きる力」になります。数学が楽しいと思ってもらえるよう私も頑張りますので、みなさんも一緒に頑張りましょう。

令和7年度 理科 「生物基礎」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	第1学年・全組（普通科・家政科）
教科書	新編 生物基礎（数研出版）	副教材等	新編 生物基礎 準拠 サポートノート（数研出版）

1 学習の到達目標

<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等		
第1学期	4	1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性	①生物の多様性	・地球上の様々な環境には、多種多様な生物が生息しており、生物は多様であることを理解する。	○単元ごとに理解度を評価します。 【学習状況観察】授業への参加状況や態度を観察します。 【課題】提出された課題を評価します。 【中間考査】授業内容をどの程度理解しているか判断します。		
			②生物の共通性とその由来	・生物が共通にもつ特徴を理解する。 ・共通の祖先が進化の過程を経て、生物が多様化したことを理解する。			
	5	2節 エネルギーと代謝	③生物に共通する構造（細胞）	・原核細胞と真核細胞でそれぞれみられる特徴を理解する。 ・生物の共通祖先の特徴を推測する。			
			①生命活動とエネルギー	・生命にエネルギーが必要なことを理解する。 ・代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わっていることを理解する。			
				中間考査		教科書 p. 18～37	
	6	3節 呼吸と光合成	①呼吸	・呼吸は、酵素の働きによって有機物が段階的に分解されてエネルギーが取り出され、ATPがつけられる過程であることを理解する。		○単元ごとに理解度を評価します。 【学習状況観察】授業への参加状況や態度を観察します。 【課題】提出された課題を評価します。 【期末考査】授業内容をどの程度理解しているか判断します。	
			②光合成	・光合成は、光エネルギーによってATPをつくり、そのエネルギーによって有機物を合成する過程であることを理解する。			
③エネルギーの流れ			・呼吸と光合成におけるエネルギーの流れを理解し、共通点と相違点を理解する。				
7	2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA	④酵素の性質	・化学反応における酵素の働きを理解する。 ・酵素の性質について理解し、実験によりその性質を確認する。				
		①遺伝情報を含む物質（DNA） ②DNAの構造	・遺伝子の本体がDNAであることを理解する。 ・DNAの抽出実験により、DNAの性質を理解する。 ・DNAの構造の特徴を見だし、DNAの基本的な構造を理解する。				
			期末考査	教科書 p. 38～61			
第2学期	9	2節 遺伝情報の複製と分配	①細胞周期とDNA ②遺伝情報の複製 ③遺伝情報の分配	・DNAの複製と2つの細胞に均等に分配される過程が、周期的に繰り返されることを理解する。 ・DNAの複製方法が半保存的複製であることを理解する。 ・体細胞分裂の過程とDNAが均等に分配される仕組みについて理解する。	○単元ごとに理解度を評価します。 【学習状況観察】授業への参加状況や態度を観察します。 【課題】提出された課題を評価します。 【中間考査】授業内容をどの程度理解しているか判断します。		
10	3節 遺伝情報の発現	①遺伝情報とタンパク質	・タンパク質はアミノ酸からなり、この配列がDNAの塩基配列により決定されることを理解する。				
		②タンパク質の合成	・DNAの塩基配列が転写、翻訳される流れを理解し、塩基配列がアミノ酸配列に変換される仕組みを理解する。				
		③細胞の分化と遺伝情報	・全ての細胞が同じ遺伝情報を持っているが、遺伝子の発現の違いにより、細胞の性質に違いが生じることを理解する。				
			④遺伝子とゲノム	・全ての遺伝情報をゲノムと呼び、アミノ酸情報はゲノムの一部であることを理解する。			
			中間考査	教科書 p. 62～83			

第2学期	11	3章 ヒトの体内環境の維持	①体内での情報伝達	・体内における情報の伝達の概要を理解する。	○単元ごとに理解度を評価します。 【学習状況観察】 授業への参加状況や態度を観察します。 【課題】 提出された課題を評価します。 【期末考査】 授業内容をどの程度理解しているか判断します。
		1節 体内での情報伝達と調節	②神経系による情報の伝達と調節	・自律神経系には交感神経と副交感神経があり、これらが拮抗的に働くことによって体内環境を調節していることを理解する。 ・内分泌系による体内環境の調節の特徴について理解する。 ・ホルモン分泌のフィードバック調節について、チロキシンの分泌調節を例に理解する。	
12	12	2節 体内環境の維持のしくみ	①体内環境の維持	・体液と恒常性について理解する。	
		②血糖濃度の調節のしくみ	③血液の循環を維持するしくみ	・血糖濃度とその調節のしくみについて理解する。 ・糖尿病について理解する。 ・尿の生成について理解し、各成分の再吸収率から成分を考察する。 ・血液凝固のしくみと体内環境の維持との関係について理解する。	
12	12	3節 免疫のはたらき	①からだを守るしくみ	・からだに備わっている免疫について理解する。	
		②自然免疫	③適応免疫	・物理的防御と化学的防御、食作用のはたらきについて理解する。 ・獲得免疫による病原体排除の流れを理解する。 ・抗体の特徴について理解する。 ・二次応答が起こるしくみを理解する。	
			④免疫と健康	・免疫に関する疾病を理解する。 ・免疫を利用した病気の予防や治療を理解する。	
			期末考査	教科書 p. 84～123	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	4章 生物の多様性と生態系	①植生とその成り立ち	・植生と各地域における優占種を理解する。 ・光量と植物の関係を考察する。	○単元ごとに理解度を評価します。 【学習状況観察】 授業への参加状況や態度を観察します。 【課題】 提出された課題を評価します。 【学年末考査】 授業内容をどの程度理解しているか判断します。
		1節 植生と遷移	②植生の遷移	・遷移の流れとそのしくみについて理解する。	
2	2	2節 植生の分布とバイオーム	③植生の再生	・破壊した植生修復と二次遷移について理解する。	
		①植生とバイオーム	②世界のバイオーム	・バイオームとその決定要因について理解する。 ・世界のバイオームとその特徴について理解する。	
3	3	3節 生態系と生物の多様性	③日本のバイオーム	・日本のバイオームとその特徴について理解する。	
		①生態系の成りたち	②生態系における種多様性	・生態系と生物の役割について理解する。 ・生態系に見られる生物の数や種類を理解する。	
3	3	4節 生態系のバランスと保全	③生態系における生物どうしのつながり	・食物網について理解し、その支えとなる各栄養段階やキーストーン種について考察する。	
		①生態系のバランス	②人間生活と生態系	・生態系のバランスを理解し、バランスが崩れたときの現象を考察する。 ・人間の活動が生態系に与える影響を理解する。	
			③生態系の保全	・生態系を守るために何ができるか考える。	
			学年末考査	教科書 p. 124～167	

3 評価の観点

知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら、科学的に探究するために必要な知識を身に付けている。また、観察、実験などに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	観察、実験などを行い、科学的に探究している。
主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象に主体的に関わり、自然環境の保全に寄与する態度を身に付けている。また生命を尊重し、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

4 評価の方法

「知識・技能」, 「思考・判断・表現」, 「主体的に学習に取り組む態度」の3つ観点から、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたり守ってほしい事項など)

- 1 授業中の説明はよく聞きましょう。必要に応じてメモをとり、授業当日に家庭で振り返ると学習が身についていきます。
- 2 不明点への質問等は大いに歓迎します。不明点や疑問があれば、積極的に授業中に発言してください。
- 3 看護系の進路希望者や、受験教科で生物を選択する人もいます。該当しない人も学習する雰囲気を大切にしましょう。

令和7年度 保健体育科 「 体育 」 シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科・家政科 1学年全クラス
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材等	保健体育ノート（大修館書店）

1 学習の到達目標

- 1 運動の多様性や体力の必要性について理解し、目的に応じた運動種目の技能を身に付ける。
- 2 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付ける。
- 3 運動における競争、協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、一人一人の違いを大切にすることなどの意欲を身に付ける。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	A 体づくり運動	ア 体ほぐしの運動	心と体は互いに影響して変化することを感じ、体の状態に応じて調子を整えるために運動したり、仲間と積極的に交流したりするための運動を行う。	授業への取り組み姿勢
		H 体育理論	1 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 ア スポーツの歴史的発展と変化 イ 現代スポーツの意義や価値	スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること、また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること、さらに、現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していることについて学習する。	ノート記入 レポート分析
	5 6 7	《選択》 E 球技	イ ネット型 テニス	ネットをはさんでラケットでボールを打ち合い得点することを競うネット型のゲームの特性を理解し、相手の動きや打球に対応した作戦を立てて、シングルスやダブルスのゲームができるようになる。	ワークシート分析 スキルテスト
		F 武道	イ 剣道	相手の動きの変化に応じた基本動作から、基本となる技や得意技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防が展開できるようにする。	ワークシート分析 スキルテスト
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9 10	A 体づくり運動	ア 体ほぐしの運動	心と体は互いに影響して変化することを感じ、体の状態に応じて調子を整えるために運動したり、仲間と積極的に交流したりするための運動を行う。	授業への取り組み姿勢
		H 体育理論	1 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 ウ スポーツの経済的効果と高潔さ エ スポーツが環境や社会にもたらす影響	現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること、また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められること、スポーツを行う際は、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任があることを学習する。	ノート記入 レポート分析
		G ダンス	ア 創作ダンス イ フォークダンス ウ 現代的なリズムのダンス	ダンスの特性を理解し、イメージやテーマを全身で表現し、グループごとにテーマを設定して、作品を創作する。	ワークシート分析 発表演技
	10 11 12	《選択》 B 器械運動	ア マット運動	マット運動では、回転、支持、跳躍など自分の体を操ってさまざまな技を行うことにより平衡性や筋力、柔軟性を高める。また、能力に応じて技を選び、組み合わせる演技する発表会を行う。	ワークシート分析 スキルテスト 発表演技

	E 球技	ア ゴール型 バスケットボール	バスケットボールでは、パスやドリブルを使ってボールを運び、一定の時間内にゴールにショットして得点を競うゴール型のゲームの特性を理解し、防御から攻撃まで連携をいかしたゲームができるようにする。個人的技能としては、ショット、パス、ドリブルなどを身に付ける。	ワークシート分析 スキルテスト
--	------	--------------------	--	--------------------

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1 2 3	C 陸上競技	ア 長距離走	目標タイムを達成するペースを自己の技能・体力の程度に合わせて設定し、そのペースに応じたスピードを維持して走る。	授業への取り組む姿勢 ワークシート分析 記録計測

3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 運動の技の名称や行い方、体力の高め方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法及び文化としてのスポーツの意義についての考え方を理解している。 運動の目的、特性に応じた基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって運動を豊かに実践するための自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任などに対する意欲を持ち、健康・安全を確保して、学習に主体的に取り組もうとしている。

4 評価の方法

- 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

- 効果的に楽しく運動することが大切です。新しい学習環境や新しい仲間の中で不安もあるでしょうが、目標を明確にして運動に取り組みましょう。
- 体育にとっての「学力」とは、基礎的な知識・技能のもとに、意欲を持って「スポーツを実践する力」です。授業を休まず、積極的に授業に参加しましょう。
- 試合でも、技術練習でもグループ活動が多くなります。仲間と協力して活動できるように心がけましょう。

令和7年度 保健体育科 「保健」シラバス

単位数	1単位	学科・学年・学級	普通科・家政科 1学年全クラス
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材等	保健体育ノート（大修館書店）

1 学習の到達目標

<p>1 個人及び社会生活における健康・安全についての理解を深め、技能を身に付ける。 2 健康についての課題を発見し、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付ける。 3 生涯を通じて自他の健康の保持増進を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を身に付ける。</p>

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1 現代社会と健康 ア 健康の考え方	1 健康の考え方と成り立ち	健康の考え方が変化してきていることを例をあげて学習し、健康を成り立たせている要因をあげることができるようにする。	授業への取り組む姿勢 ワークシート分析 レポート分析 ノート提出 期末考査
			2 私たちの健康のすがた	わが国の健康水準の変化とその背景を学習し、現在の健康問題をあげることができる。	
	5	イ 生活習慣病などの予防と回復	3 生活習慣病の予防と回復	生活習慣病の例をあげ、生活習慣病の予防及び回復方法を説明できる。	
			4 がんの原因と予防	がんの種類や原因、予防方法、おもな治療方法、緩和ケアについて理解し、説明できる。	
			5 がんの治療と回復		
	6		6 運動と健康	運動と健康の関係を理解し、目的に応じた運動の仕方について説明できる。	
			7 食事と健康	健康にとっての食事の意味について理解し、健康的な食事のポイントをあげることができるようにする。	
	7	ウ 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康	8 休養・睡眠と健康	健康にとっての休養の意味を理解できるようにする。	
			9 喫煙と健康	喫煙者やその周囲の人に起こる害を説明し、日本や世界における喫煙対策の例をあげることができる。	
			期末考査	既習事項等	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9		1 0 飲酒と健康	飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できるようにする。	授業への取り組む姿勢 ワークシート分析 レポート分析
			1 1 薬物乱用と健康	薬物乱用が心身の健康や社会に与える影響について説明できるようにする。	
	10	エ 精神疾患の予防と回復	1 2 精神疾患の特徴	精神疾患の発病の要因や症状について理解し、その予防方法や治療について説明できる。	
			1 3 精神疾患の予防		
	1 4 精神疾患からの回復				
	11	オ 現代の感染症とその予防	1 5 現代の感染症	新たな感染症の問題に関して例をあげて学習し、感染症の予防対策をあげることができるようにする。	
1 6 感染症の予防					
			1 7 性感染症・エイズとその予防	性感染症、エイズがほかの感染症と異なる点について理解し、予防と対策について説明できる。	
12	ア 健康の考え方	1 8 健康に関する意志決定・行動選択	健康に関する適切な意志決定、行動選択の際の工夫について説明できる。		
		1 9 健康に関する環境づくり	ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴を理解することができる。		

			期末 既習事項等	ノード提出 期末 期末
--	--	--	-------------	-------------------

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等		
第3学期	1	2 安全な社会生活	1 事故の現状と発生要因	事故の実態と被害の実態について把握し、事故発生に関係する要因を例をあげて説明できる。	授業への取り組む姿勢 ワークシート分析 レポート分析		
		ア 安全な社会づくり				2 安全な社会の形成	安全のために必要な個人の行動について説明できる。
						3 交通における安全	交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備、交通事故における責任を3つに分けて説明できる。
	2	イ 応急手当	4 応急手当の意義とその基本	適切な応急手当の意義を説明できる。			
			5 日常的な応急手当	日常的な応急手当と熱中症の応急手当の手順や方法を説明できる。			
		3		6 心肺蘇生法		心肺蘇生法の手順のポイントをあげ、実際におこなうことができる。	
			学年末考査	既習事項等	ノート提出 学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	・現代社会と健康及び安全な社会生活について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
思考・判断・表現	・現代社会と健康及び安全な社会生活について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断している。
主体的に学習に取り組む態度	・現代社会と健康及び安全な社会生活について、関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。

4 評価の方法

・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

・授業で教科担当の説明を聞いたり、板書を書き留めたりするだけでなく、自分自身の生活を振り返り、積極的に健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。

令和7年度 芸術科「音楽I」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1学年 全クラス 選択者
教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)	副教材等	ミュージックノート (教育出版)

1 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成する。

1. 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
2. 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
3. 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等				
第1学期	4	曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう	○『校歌』 ○『ヴォイストレーニング』 ○『わが太陽』 他	○歌唱 ◇器楽 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身に付けます。また、イメージをもって音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫します。 また、校歌の歌唱活動と関連付けて、器楽活動に取り組みます。鍵盤楽器での旋律演奏を通して、リズムやテクスチャなど音楽を形づくっている要素について学習します。	観察・聴取 課題取組状況 学習プリント 実技テスト (歌唱・器楽)				
	5								
6									
7									
	世界の音楽～和楽器の音と世界の楽器の音～					◇『六段の調べ』 他 ◎古琴、カヤグム、楊琴 他	◇器楽 ◎鑑賞 日本の楽器の奏法を学び、音色や奏法の特徴を感じるとともに、諸民族の楽器と日本の楽器との比較を通して音楽文化の共通点、相違点を理解します。	観察・聴取 課題取組状況 学習プリント 実技テスト	
第2学期	9					日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して独唱しよう	○『この道』 ○『野ばら』 他	○歌唱 独唱曲がもつ曲想を歌詞の内容や楽曲の背景などとかかわせて、イメージをもって独唱します。歌ったり互いに聞き合ったりしながら、曲と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解します。	観察・聴取 課題取組状況 学習プリント 実技テスト
10									
11									
12	旋律の雰囲気を変化させよう	□『星に願いを』 ◇『きらきら星変奏曲』 ◎『きらきら星変奏曲』	□創作 ◇器楽 ◎鑑賞 リズムや速度、音色などを変化させて、楽曲の	観察・聴取 課題取組状況 学習プリント 実技テスト 創作作品					

		和楽器に親しもう ～三味線～	◇『寄せの合方』 ◎長唄『勸進帳』	表情や雰囲気の違いを感じ取ります。 ◇器楽 ◎鑑賞 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身に付けます。	観察・聴取 課題取組状況 学習プリント 実技テスト
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	ギターの楽しみ	◇『蛍の光』 ○『蛍の光』	◇器楽 ○歌唱 クラシックギターの基本奏法を身に付け、TAB譜を見ながら卒業式で歌唱する曲を演奏できるようにします。	観察・聴取 課題取組状況 学習プリント 実技テスト
	2				
	3				

3 評価の観点

知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴いたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現および鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

- ・表現（演奏）の学習では歌唱（独唱、合唱など）、器楽（ピアノ、箏、ギター）の分野で、さまざまな体験ができるようになっていきます。初めてでも、また、自信がなくても臆せず挑戦し、音楽を一生楽しめるような技能を身に付けましょう。
- ・創作の学習では、自分で創作した作品を発表したり、鑑賞した楽曲や演奏に対して自分なりの考えを述べたりするなど、音楽を通じてプレゼンテーションの力を身につけましょう。
- ・鑑賞の学習では、聴くだけでなく、音楽の構造や文化的・歴史的背景などについても学びます。音楽的な見方・考え方を身に付けましょう。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・家政科 1年 1～4組 選択者
教科書	美術1（光村図書）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	オリエンテーション 表現 絵画 鉛筆デッサン 「自画像」	目・鼻・口の拡大デッサン クロッキー	<ul style="list-style-type: none"> 美術の1年間の学習内容や評価について理解する。 形や光の捉え方と表現方法、面で形を捉えて量感や空間を表現する。 各パーツの比率から正確に素早く形を捉える事を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート (知, 主) 作品 (知, 思) 作品 (知, 思)
	5		自画像鉛筆デッサン	<ul style="list-style-type: none"> デッサンを通し、自己の内面、物事の本質などを深く見詰め、感動や自己の思いなどを美的に表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品 (知, 思, 主) 鑑賞ワークシート (思, 主) 自己評価ワークシート (知, 思, 主)
	6			<ul style="list-style-type: none"> 感性を働かせ、自分を見つめて感じ取ったことや考えたこと、思い描いたイメージや願いなどを認識し作品に想いを込めるとともに、自らの内面に働きかけ問い直しながら自分を見つめ、将来を考える。 形体、色彩、構図、質感、空間などに注意して、造形要素等についての理解を深め、創意工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動の観察 (知, 主)
	7	鑑賞 「自画像」	生徒作品の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 自分の観察力や表現力に対して講評を受け、更に発展的な表現の幅を広げる。 他者の作品から、作者の感じ取ったことや意図、表現の工夫などを感じ取り、鑑賞ワークシートにまとめる。 	
第2学期	9	表現 絵画 油彩画 「静物油彩」	画家、作品調べ	<ul style="list-style-type: none"> 油彩画の表現の多様性について画家の作品を鑑賞し、描き方を調べ、自分らしい表現の参考にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 画家調べワークシート (知, 思)
	10		油彩画の特性と歴史 構図について エスキース 下書き 彩色	<ul style="list-style-type: none"> 油彩画の表現形式のよさや効果などを理解し、その特性を生かす。そのために、光や陰影、面等を把握して形体を表現する。 形体、色彩、構成などの造形要素等の働きを総合的に考え、単純化や強調、構図、配色、混色やマチエールなどの工夫によって生まれる感情や美しさなどの表現効果を生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> エスキースワークシート (知, 思) 作品の下書き (知) 作品 (知, 思, 主)
	11			<ul style="list-style-type: none"> 不慣れな油絵の具を試行錯誤し、創意工夫することで構想を深められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価ワークシート (知, 思, 主)
	12			<ul style="list-style-type: none"> 油絵の具やキャンバス、木炭などの画材の特性、筆などの用具の使い方について体験的に理解を深め、構想を確かめながら材料や用具を工夫して表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動の観察 (知, 主)

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	鑑賞 油彩画 「静物油彩」	生徒作品の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の作品から、作者の感じ取ったことや意図、表現の工夫などを感じ取り、鑑賞ワークシートにまとめる。 ・自分の観察力や表現力に対して講評を受け、更に創意工夫ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞ワークシート（思、主） ・発表（思、主）
	2	表現 デザイン 色面構成 「人物・動物」	色彩の基礎 色の3属性、補色 写真の転写 (明度分割) 彩色	<ul style="list-style-type: none"> ・彩度、明度、色相について理解し、正しく色を判別する力を身につける。 ・明度に適した色彩を選択し、混色する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品（知、思、主） ・自己評価ワークシート（知、思、主）
	3			<ul style="list-style-type: none"> ・正確にはみ出さないよう、粘り強い態度で着彩に取り組む。 ・目的や条件を考え装飾する能力、形や色彩を使ったビジュアルな表現方法により作品を制作する。 <ul style="list-style-type: none"> ・色彩感覚や構成力、想像力などを総合的に働かせて、形や色彩、材料などの効果を生かし、造形的に美しく構成し表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の観察（知、主）

3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な知識・技能を身に付け、意図に応じた表現方法を創意工夫し表している。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、自ら主題を生成し発想や構想を練ったり、意図に応じた技法を選択している。 ・美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろから自分自身の生き方についてよく考え、自分の外面ばかりでなく、内面を見つめることが大切です。 ・用具の正しい使い方を身に付け、様々な技法によって自己を表現しようとする姿勢が大事です。 ・作品の制作以外に、個々の作品を用いて作品鑑賞を実施します。美術の幅広い制作活動と併せて美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てていきます。 ・1年間の美術学習の中で、基礎的なものの見方や表現方法について学びます。自分自身を題材にすることにより、自分の内面を見つめ、表現の楽しさや完成の喜びを味わってください。 ・授業は美術室で行いますので、速やかに移動し、チャイムと同時に始められるようにしてください。 ・自分で用意すべき用具や材料は、しっかり準備し、他人のものは使わないようにしてください。使用した用具の後始末をきちんと行ってください。 ・作品の提出は期限を厳守してください。 ・教材の内容はその時の進捗などにより変更する場合があります。また、授業で制作した作品を文化祭などで展示することがあります。ご了承ください。

令和7年度 芸術科 「書道Ⅰ」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・家政科 1年 1～4組 選択者
教科書	書Ⅰ（教育図書）	副教材等	硬筆レッスン帳（教育図書）

1 学習の到達目標

<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中学校国語科書写の学習を基礎としつつ、書道の幅広い活動に主体的に取り組み生涯にわたり書を愛好する心情を養う。 2 書の表現方法や形式などについて理解を深め、効果的に表現するための基礎的な能力を伸ばす。 3 書のよさや美しさを感じ取る鑑賞の能力を伸ばすとともに、書の伝統と文化について理解を深める。
--

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1 学期	4	漢字仮名交じりの書1	書道の基本 書写から書道へ 古典に基づく学習	<ul style="list-style-type: none"> ・用具・用材の種類や性能、扱い方を学ぶ。 ・姿勢や執筆法の基本を理解し、用具・用材による表現の変化を学ぶ。 ・中学校までに学習した書写の学習内容をもとに表現する。 	試書（知）
	5	漢字の書 楷書	楷書の特徴 ・九成宮醴泉銘 ・雁塔聖教序	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書の古典を鑑賞し、作者や時代背景等を理解し、楷書の特徴を理解する。 ・楷書の古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を習得する。 	自己評価シート （知・態表・態鑑） 試書（思） まとめ作品（技）
	6		碑と拓本	<ul style="list-style-type: none"> ・石碑に関する基礎的な知識、拓本の見方とその価値を学ぶ。 	観察（知・態鑑）
	7		刻字 ・顔氏家廟碑 採拓	<ul style="list-style-type: none"> ・顔氏家廟碑を原寸でボードに刻すことにより、字形や線質などを立体として学ぶとともに、筆跡を刻す文化について理解を深める。 ・制作した顔氏家廟碑の拓本を採り、線質のあり方について考えを深める。 	自己評価シート （知・態表・態鑑） 刻字作品（技） 採拓作品（技）
第2 学期	9	篆書	篆書の特徴 ・泰山刻石	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある篆書について考え、篆書の表現に親しむ。 ・篆書の古典の臨書学習により、基本的な点画や用筆法・運筆法を習得する。 	自己評価シート （知・態表） 試書（思） まとめ作品（技）
	10	篆刻	篆刻について 自分を表す印の制作 ・名印	<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻と名前の印の刻し方について理解し、名前の印（八分角）を制作する。 	自己評価シート （知・態表・態鑑） 印稿（思） 印影（技）
	11	行書	さまざまな行書古典 行書の特徴 ・蘭亭序 ・風信帖	<ul style="list-style-type: none"> ・書道の学習の基本となる古典臨書の意義を理解する。 ・行書の古典を鑑賞し、作者や時代背景等を理解し、行書の特徴を理解する。 ・行書の古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を習得する。 	自己評価シート （知・態表・態鑑） 試書（思） まとめ作品（技）
	12	漢字仮名交じりの書2	楷書と仮名の調和 楷書・行書による創作	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した楷書と行書古典の倣書をもとに、漢字仮名交じりの書へと展開する。 ・線質や字形、文字の大きさ等のあり方について理解し、漢字と仮名の調和を図る。 	ワークシート（知・態表・態鑑） 試書（思） まとめ作品（技）

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	仮名の書	仮名の成立と発達 仮名の基本用筆 平仮名 連綿 変体仮名	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立と変遷，種類について理解する。 ・仮名の用具・用材と姿勢や執筆法を理解し，基本用筆を学ぶ。 ・仮名の基本的な字形や連綿の美しさ，変体仮名について理解し，表現を工夫できるようにする。 	自己評価シート（知・態表・態鑑） 試書（思） まとめ作品（技）
	2		古筆について ・蓬萊切	<ul style="list-style-type: none"> ・古筆（仮名の古典）の特質と表現について学ぶ。 ・平安時代の文学と仮名の関係について知る。 	自己評価シート（知・態表・態鑑） 試書（思） まとめ作品（技）
	3		仮名の書の作品制作	<ul style="list-style-type: none"> ・用具・用材や形式，構成などの表現方法を工夫し，俳句を題材として作品を制作する。 	ワークシート（知・態表・態鑑） 試書（思） まとめ作品（技）

3 評価の観点

知識・技能	書の表現の方法や形式，書表現の多様性について書の創造的活動を通して理解を深めている。 書の伝統に基づき，作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け表している。
思考・判断・表現	書のよさや美しさを感じ，意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書的美を味わい深く捉えたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	書の伝統と文化と豊かさに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から，総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

- 1 書道の学習では，よく観ることが大切です。対象となる古典や作品に素直な気持ちで向かいましょう。
- 2 次にたくさん書くこと，反復練習です。技法の習得は主として古典の臨書によりますが，よく見ようとする姿勢が大切です。また，意図に基づいて作品の構想を練り表現を工夫し，作品を制作する創造力も大切にします。
- 3 そして最後によく考えることです。ただ枚数を重ねるのではなく，一字一字，一枚一枚について自分の解決すべき課題を見いだして学習することが大切です。構想や工夫を積み重ね，制作したものを客観的に捉え，次なる学習への見通しを立てて学びを深めていくために，「自己評価シート」に毎時間記入し記録を残しておきましょう。

第3学期学習指導計画											
月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
1	(知識) 文章を読み取るために必要となる右記の文法事項を理解している。(技能) 右記の文法項目を活用しプラスチックによる環境破壊について書かれた文章を読みとる技能を身につけている。(思考・判断・表現) プラスチックがもたらす館評価灰についての情報を読み取ることができる。(主体的に取り組む態度) どのようにプラスチックが環境破壊を引き起こすのかの概要や要点を把握しようとしている。	Lesson 7 No Plastic or No Future	〔学習内容〕 プラスチックがもたらす環境破壊に関する論説文 〔学習活動〕 質問する, 理由を述べる, 描写する, 説明する, 発表する, 報告する 〔文法項目〕 関係副詞 where/関係副詞 when/関係代名詞 what	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	3	言語活動の取り組み状況の観察 課題等の提出 定期考査
2・3	(知識) 文章を読み取るために必要となる右記の文法事項を理解している。(技能) 右記の文法項目を活用しfish and chipsの歴史や食料資源について書かれた文章を読みとる技能を身につけている。(思考・判断・表現) fish and chipsの歴史や食料資源についての様々な情報を本文から読み取ることができる。(主体的に取り組む態度) 日本の食料資源についても関心を寄せている。	Lesson 8 Oh My Cod!	〔学習内容〕 フィッシュ・アンド・チップスの歴史と食料資源に関する発表 〔学習活動〕 質問する, 説明する, 報告する, 発表する 〔文法項目〕 現在分詞の分詞構文/関係代名詞の非制限用法/過去完了形	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	3	言語活動の取り組み状況の観察 課題等の提出 定期考査
学年末考査	学年末考査			知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	4	

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	〔知識〕 英語の特徴やさまじりに関する事項を理解している。 〔技能〕 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について話された文等を読み取っている。	〔知識〕 英語の特徴やさまじりに関する事項を理解している。 〔技能〕 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について書かれた文等を読んで、その内容を捉える技能を身につけている。	〔知識〕 英語の特徴やさまじりに関する事項を理解している。 〔技能〕 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝え合うやり取りを身につけている。	〔知識〕 英語の特徴やさまじりに関する事項を理解している。 〔技能〕 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝える技能を身につけている。	〔知識〕 英語の特徴やさまじりに関する事項を理解している。 〔技能〕 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝える技能を身につけている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して読み取り、書き手の意図や概要、要点を捉えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えていく。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝えていく。
主体的に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞こうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読もうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて話そうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて書こうとしている。

評価の方法	授業における言語活動の取り組み状況、課題等の提出、定期考査の成績等を踏まえて、上記の3つの観点から総合的に評価する。
-------	--

担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)	英語学習において、机の上に向かって単語を覚えたり、問題を演習することで力をつけてきた人が多いのではないだろうか。しかし、それと同時に、「スポーツ」(技能)の側面も兼ね備えていることを忘れてはいけません。特に現代社会においては、「勉強としての英語力」よりも「技能としての英語力」が求められていることは明らかです。学問としての英語を飛び越え、実践的英語力を身につけていくべきです。 「技能としての英語力」をトレーニングするためには「覚える」だけでは不十分です。「覚えたものを使う(話す・書く・読む等)」ことが欠かせません。特に「覚えた英語を発音する」という行為がそれ自体が、とっても大切です。意味をしっかりと把握し、音読することを学習の中にとりいれたり、覚えた単語を用いてオリジナルの例文を考えるなど、能動的に学習をしていきましょう。
--	--

令和7年度 外国語科「論理・表現I」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 家政科 1年 1～4組
教科書	VISTA I (三省堂)	副教材等	VISTA サブノート (三省堂)

1 学習の到達目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画									
月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域			評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					取	発	書		
4	(知識) 英語で話したり書いたりするために必要となる中学校で学んだ基礎を理解している。(技能) 中学校で学んだ基本的な語句や文を用いて、話したり書いたりする技能を身につけている。(思考・判断・表現) 中学校で学んだ基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを伝え合することができる。(主体的に取り組む態度) 中学校で学んだ基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを伝え合おうとしている。	L0 Let's Start	主な活動：話す・書く アルファベット/語/文構造/接続詞/前置詞	知	○	○	○	6	ノート・ワークシート スピーチ ライティング 言語活動への参加状況
			中学校で学んだ基礎を確認します。	思	○	○	○		
			態	○	○	○	○		
5	(知識) 英語でやり取りするために必要となる現在形を理解している。(技能) 現在形の文を用いて、やり取りする技能を身につけている。(思考・判断・表現) 現在形の文を用いて、自分の情報を伝え合することができる。(主体的に取り組む態度) 現在形の文を用いて、自分の情報を伝え合おうとしている。	L1 Bouldering? How nice	主な活動：やり取り 現在形 (be動詞/一般動詞)	知	○	○	○	3	ノート・ワークシート ディスカッション 言語活動への参加状況
			自分のことを紹介し、相手に共感を示します。	思	○	○	○		
			態	○	○	○	○		
6	(知識) 英語で書いたり発表するために必要となる過去形を理解している。(技能) 過去形の文を用いて、書いたり発表したりする技能を身につけている。(思考・判断・表現) 過去形の文を用いて、歴史上の人物について、情報や考えを書いたり発表したりすることができる。(主体的に取り組む態度) 過去形の文を用いて、歴史上の人物について、情報や考えを書いたり発表したりしようとしている。	L2 Famous People	主な活動：書く・発表 過去形 (be動詞/一般動詞)	知	○	○	○	6	ノート・ワークシート スピーチ ライティング 言語活動への参加状況
			歴史上の人物について調べ、発表します。	思	○	○	○		
			態	○	○	○	○		
7	(知識) 英語で書くために必要となる進行形を理解している。(技能) 進行形を用いて、文を書く技能を身につけている。(思考・判断・表現) 進行形の文を用いて、自分の情報を書いて伝えることができる。(主体的に取り組む態度) 進行形の文を用いて、自分の情報を書いて伝えようとしている。	L3 Aquarium Adventure	主な活動：書く 現在進行形/過去進行形	知	○	○	○	3	ノート・ワークシート ライティング 言語活動への参加状況
			今していることを、SNSで相手に伝えます。	思	○	○	○		
			態	○	○	○	○		
8	(知識) 英語でやり取りするために必要となる未来表現を理解している。(技能) 未来表現を用いて、やり取りする技能を身につけている。(思考・判断・表現) 未来表現を用いて、自分の未来の予定などを伝え合することができる。(主体的に取り組む態度) 未来表現を用いて、自分の未来の予定などを伝え合おうとしている。	L4 My Summer Plan	主な活動：やり取り 未来表現 (will/be going to)	知	○	○	○	3	ノート・ワークシート ディスカッション 言語活動への参加状況
			自身の夏休みの予定を伝えたり、相手をどこかへと誘ったりします。また、プランを提案します。	思	○	○	○		
			態	○	○	○	○		
期末 考查	期末 考查			知	○	○	○	6	
				思	○	○	○		
				態	○	○	○		



第2学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の 観点	領域					評価 項目 数	主な評価規準 (評価方法)
					取	発	書	読	交		
9 10 11 12	(知識) 英語で書いたり発表するために必要となる現在完了形を理解している。(技能) 現在完了形の文を用いて、書いたり発表したりする技能を身につけている。(思考・判断・表現) 現在完了形の文を用いて、自分の経験について書いたり発表したりすることができる。(主体的に取り組む態度) 現在完了形の文を用いて、自分の経験について書いたり発表したりしようとしている。	L5 UFO Sightings	主な活動：書く・発表 現在完了形① (経験/継続) 自分の経験したことを紹介し ます。聴衆を引きつける工夫をし ます。	知	○	○				6	ノート・ワークシート スピーチ ライティング 言語活動への参加状況
	(知識) 英語で書くために必要となる現在完了形を理解している。(技能) 現在完了形を用いて、文を書く技能を身につけている。(思考・判断・表現) 現在完了形の文を用いて、メールを書くことができる。(主体的に取り組む態度) 現在完了形の文を用いて、メールを書こうとしている。	L6 Homestay	主な活動：書く 現在完了形② (完了/現在完了進行形) ホストファミリーへメールを書き ます。メールでの挨拶文を学びま す。	知		○				3	ノート・ワークシート ライティング 言語活動への参加状況
	(知識) 英語でやり取りするために必要となる比較表現を理解している。(技能) 比較表現を用いて、やり取りする技能を身につけている。(思考・判断・表現) 比較表現を用いて、身の回りにある物を比較し、その内容を伝え合うことができる。(主体的に取り組む態度) 比較表現を用いて、身の回りにある物を比較し、その内容を伝え合おうとしている。	L7 Which is faster?	主な活動：やり取り 比較 (比較級/最上級/as...as ~) 比較表現をつかって、身の回り にある物を比べてみます。驚いた ときに使う表現も学びます。	知	○					3	ノート・ワークシート ディスカッション 言語活動への参加状況
	(知識) 英語で書いたり発表するために必要となる助動詞を理解している。(技能) 助動詞を含む文を用いて、書いたり発表したりする技能を身につけている。(思考・判断・表現) 助動詞を含む文を用いて、優れていると思う発明品について書いたり発表したりすることができる。(主体的に取り組む態度) 助動詞を含む文を用いて、優れていると思う発明品について書いたり発表したりしようとしている。	L8 Great Inventions	主な活動：書く・発表 助動詞① (can/may) 優れた発明品を調べ、それにつ いて発表します。なぜそう思うの かという理由を含め、説得力のある 発表にします。	知		○	○			6	ノート・ワークシート スピーチ ライティング 言語活動への参加状況
	(知識) 英語で書くために必要となる助動詞を理解している。(技能) 助動詞を用いて、文を書く技能を身につけている。(思考・判断・表現) 助動詞を含む文を用いて、環境問題についての考えを書くことができる。(主体的に取り組む態度) 助動詞を含む文を用いて、環境問題についての考えを書こうとしている。	L9 Save the Earth	主な活動：書く 助動詞② (must/have to/ should) 環境問題についてホームページ を作ります。事実を正しく明確に 伝える工夫をします。	知		○				3	ノート・ワークシート ライティング 言語活動への参加状況
	(知識) 英語でやり取りするために必要となる受動態を理解している。(技能) 受動態を用いて、やり取りする技能を身につけている。(思考・判断・表現) 受動態の文を用いて、様々な芸術作品について伝え合うことができる。(主体的に取り組む態度) 受動態の文を用いて、様々な芸術作品について伝え合おうとしている。	L10 Masterpi ece	主な活動：やり取り 受動態 様々な芸術作品について話し合 います。相手の意見に関心や同意 を示し、ディスカッションをスム ーズに進めます。	知	○					3	ノート・ワークシート ディスカッション 言語活動への参加状況
	期末 考 査	期末 考 査			知	○	○	○			6
				思	○	○	○				
				態							

第3学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					取	発	書	読	聴		
1	(知識) 英語で書いたり発表するために必要となる不定詞・動名詞を理解している。(技能) 不定詞・動名詞を含む文を用いて、書いたり発表したりする技能を身につけている。(思考・判断・表現) 不定詞・動名詞を含む文を用いて、自分がなりたい職業について論理的に書いたり発表したりすることができる。(主体的に取り組む態度) 不定詞・動名詞を含む文を用いて、自分がなりたい職業について論理的に書いたり発表したりしようとしている。	L11 My Future Job	主な活動：書く・発表 不定詞① (名詞的用法) / 動名詞 自分がなりたい職業について発表します。順序立てて論理的な説明になるように工夫します。	知	○	○	○	○	6	ノート・ワークシート スピーチ ライティング 言語活動への参加状況	
				思	○	○	○	○			
				態	○	○	○	○			
	(知識) 英語で書くために必要となる不定詞を理解している。(技能) 不定詞を用いて、文を書く技能を身につけている。(思考・判断・表現) 不定詞を含む文を用いて、日本の世界遺産について紹介文を書くことができる。(主体的に取り組む態度) 不定詞を含む文を用いて、日本の世界遺産について紹介文を書こうとしている。	L12 World Heritage	主な活動：書く 不定詞② (副詞的用法/形容詞的用法) 日本の世界遺産について調べ、海外へアピールするホームページを作成します。	知		○	○	○	3	ノート・ワークシート ライティング 言語活動への参加状況	
				思		○	○	○			
				態		○	○	○			
学年末考査				知	○	○	○	○	6		
			思	○	○	○	○				
			態								

評価の観点	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	<p>《知識》 賛成・反対の意見を、論理の構成や展開を工夫して話して伝えるために必要となる語句や表現を理解している。</p> <p>《技能》 日常な話題や社会的な話題について、ディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝える技能を身につけている。</p>	<p>《知識》 賛成・反対の意見を、論理の構成や展開を工夫して話して伝えるために必要となる語句や表現を理解している。</p> <p>《技能》 日常な話題や社会的な話題について、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝える技能を身につけている。</p>	<p>《知識》 賛成・反対の意見を、論理の構成や展開を工夫して書いて伝えるために必要となる語句や表現を理解している。</p> <p>《技能》 日常な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して書いて伝える技能を身につけている。</p>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 日常な話題についての情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりしている。 日常な話題や社会的な話題について、ディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えている。 日常な話題や社会的な話題について、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。 日常な話題や社会的な話題について、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 日常な話題についての情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりしようとしている。 日常な話題や社会的な話題について、ディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えようとしている。 日常な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して書いて伝えようとしている。 日常な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して書いて伝えようとしている。

評価の方法	(a) 小テスト (b) 定期考査 (c) パフォーマンステスト (対話・スピーチ・プレゼンテーション・ライティングなど) (d) 言語活動への参加姿勢、聞く態度 (e) 提出物 (ノート・ワークシート) の完成度 これらをもとに上記の3つの観点から総合的に評価する。
-------	---

担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)	積み重ねた知識 (語彙、表現、文法) を授業中の言語活動で積極的に使いましょう。言語活動への意欲的な参加を望みます。
--	--

令和7年度 家庭科 「家庭総合」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年1～3組
教科書	家庭総合 自立・共生・創造(東京書籍)	副教材等	生活学Navi 資料+成分表(実教出版)

1 学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。

(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1章 生涯を見通す	家庭総合を学ぶにあたって	・学習の意義や内容・方法・評価を理解します。	ワークシート レポート
			(1) 人生を展望する	・生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題を理解し、青年期の課題について考えます。	
	5	第2章 人生をつくる	(2) 目標を持って生きる	・今の自分を客観的に見つめ、生活課題に対応した意思決定の大切さを理解します。	ワークシート ノート
	(1) 人生をつくる	・家事労働、職業労働について知り、ワークライフバランスについて考えます。			
			(2) 家族・家庭を見つめる		
			(3) これからの家庭生活と社会		
			中間考査	既習事項等	中間考査
	6	第9章 経済生活を営む	(1) 情報の収集・比較と意思決定	・生涯を見通した経済計画の重要性について理解し、経済的自立と職業について考えます。	ワークシート レポート
			(2) 購入・支払いのルールと方法	・家計管理の重要性を認識し、ライフステージごとのポイントを理解します。	
			(3) 消費者の権利と責任	・消費者問題の現状や消費者の権利と責任について理解し、消費者として適切な判断ができるようにします。	ノート
			(4) 生涯の経済生活を見通す	・消費行動と環境との関わりについて理解し、持続可能な生活に向けた消費行動について考えます。	
	7	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	(5) 家計をマネジメントする	・自身で課題を設定し、実施・評価今後の課題について考えます。	ノート 期末考査
			(6) これからの経済生活		
			夏季休業課題		
			期末考査	既習事項等	期末考査
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	第7章 衣生活をつくる	(4) 被服を作る	・エプロン製作を通し、手縫いの基本や刺しゅうの技術を習得します。刺しゅうの模様は、自分でデザインします。 ※製作したエプロンは、2年生の調理実習で使用します。	実習の実技・作品
	10		(1) 被服の役割を考える	・人間と被服、気候と被服の関わりや、各ライフステージに適した衣服の役割、適切な着装について整理します。	ワークシート レポート ノート
			(2) 被服を入手	・被服材料の特徴を理解し、組成表示、取り扱い表示などの意味を理解します。	
			(3) 被服を管理する		

第2学期	11		(5)衣生活の文化と知恵	・日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について知り、日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装について理解します。	ワークシート ノート
	12	第5章 共に生き、共に支える	(6)これからの衣生活 (1)私たちの生活と福祉 (2)社会保障の考え方 (3)共に生きる	・次世代に引き継げる衣生活の在り方を考えるために、資源の消費の視点で自分の衣生活を見直します。 ・自助・公助・共助の意味や関連する仕組みについて理解します。	ワークシート ノート
			期末考査	既習事項等	期末考査
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第10章 持続可能な生活を営む	・消費生活と環境 (1)持続可能な社会を目指して (2)一人一人の力で社会を動かす	・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、自身の生活と消費、生活文化について考察し、ライフスタイルを工夫します。	ワークシート ノート
	2	第8章 住生活をつくる	(1)住生活の変遷と住居の機能	・住居の機能について考えます。	ワークシート ノート
	3		(2)安全で快適な住生活の計画 (3)住生活の文化と知恵 (4)これからの住生活	・気候風土に応じた住居や住まい方の工夫があることを理解します。 ・平面図の基礎知識を習得し、間取りや動線について理解します。 ・安全で快適な住まい方や住環境について考えます。	シールによる平面計画図
			学年末考査	既習事項等	学年末考査

3 評価の観点

知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解をし、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。
思考・判断・表現	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

4 評価の方法

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価します。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

・講義、実習、グループ討議、ロールプレイングなど様々な学習形態を通して、より深い理解と関心を深めます。素直な気持ちで積極的に参加してください。
 ・基本的な事項や内容を暗記するのではなく、生活者としての立場から自分の現在の生活を見つめ、課題を発見し改善していくような姿勢が大切です。
 ・授業で学んだことは、家庭でも繰り返し行ってみるのが大切です。机上のみでは、家庭科の学力が身についたとは言えません。家庭科は実践あるのみです。学んだことを生活や人生設計に生かしていきましょう。
 ・毎時間、教科書・資料集・ノートを準備してください。欠席すると授業がわからなくなるだけでなく評価にも影響します。

令和7年度 情報科 「情報I」シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	普通科1学年1～3組
教科書	情報I（日本文教出版）	副教材等	ビジネス文書実務検定模擬試験問題集3級（実教出版）

1 学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
- (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	導入	コンピュータの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの使用方法（ユーザーID、パスワード、サインイン、サインアウト等）を確認する。 ・タイピング練習 	行動観察
	5	1 情報社会の問題解決	第1節情報の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の特性を考える。 	行動観察
			第2節メディアの特性	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアの特性を考える。 	行動観察
	6		第3節問題解決の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の考え方を身につける。 	行動観察 ワークシート分析
			第4節法の重要性和意義（著作権）	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権侵害について考える。 	
			第5節法の重要性和意義（個人情報）	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報について考える。 	行動観察
第6節情報社会と情報セキュリティ			<ul style="list-style-type: none"> ・サイバー犯罪について考える。 		
7		第7節情報技術の発展による生活の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記テスト 	ワークシート分析	
		第8節情報技術の発展による社会の変化 技法	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルメディアの適切な活用方法を身につける。 ・情報技術の発展と社会の変化を考える。 ・文書作成ソフトの基本的な操作方法・実技テスト 	行動観察 ワークシート分析	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	2 コミュニケーションと情報デザイン	第1節メディアとコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアの発達、コミュニケーションの形態や特性を理解する。 	行動観察
	第2節メディアとデジタル化		<ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタルの違い、2進法と情報量の単位との関係を理解する。 	行動観察	
	10	3 コンピュータの利用	第3節情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・情報デザインの考え方を学ぶ。また、問題解決のプロセスを理解する。 	ワークシート分析
			第1節コンピュータのしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトの実技テスト ・コンピュータの基本的な構成を理解する。 	行動観察
	11		第2節アルゴリズムとプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズムの基本構造を確認し、図や表で表現する方法を知る。 ・文書作成ソフトの基本的な操作方法・実技テスト 	行動観察 ワークシート分析
			第3節モデル化とシミュレーション 技法	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングのよりコンピュータを用いてシミュレーションする。 ・表計算ソフトの基本的な操作・Pythonの基本 	行動観察 作品分析

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	4 情報通信ネットワークとデータの活用	第1節情報通信ネットワークのしくみ	・コンピュータネットワークの構成を理解する。暗号化など情報セキュリティを高める方法について理解する。	行動観察
	2		第2節情報システムとデータベース	・情報システムが社会をどのように支えているか理解する。データベースの役割について理解する。	行動観察
			第3節データの活用	・データの活用が問題解決に役立つことを踏まえ、データ収集の方法考え、データの分析方法を理解する。	ワークシート分析
3	技法	・プレゼンテーションソフトの基本的な操作・作品提出・発表	行動観察 作品分析		

3 評価の観点

知識・技能	情報や情報メディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けている。情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解し、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。
思考・判断・表現	目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えることができる。また、情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え考察し、情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察できる。
主体的に学習に取り組む態度	情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようし、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し、改善しようとしている。また、情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

- ・教科「情報」は、これからの情報化社会を生き抜いていくために必要不可欠な教科です。前向きな態度で授業にのぞみ、積極的に課題にチャレンジしてください。
- ・「情報I」の評価は、自分の成長に役立つための評価です。報告書やプレゼンテーション資料などの授業での成果物は皆さんの財産になりますし、成し得た成長の証でもあります。常に自己評価を行い、成長の過程を確かめながら学習してください。
- ・教科書の内容を覚えることも大切ですが、知識のみに偏らず、実習を通じて、問題の発見や解決能力、情報活用の能力を高め、社会に役立てられるような実践力を身につけることが最も大切です。
- ・授業中は説明を確実に聞いてください。特にコンピュータなどの情報機器の操作については、手順通りに行わないと誤動作する場合があります。結果として他の人に迷惑をかけてしまう場合があるので十分注意してください。

令和7年度 第1学年 「総合的な探究の時間」 シラバス

単位数	1 単 位	学科・学年・学級	普通科 1年1～3組
教科書		副教材等	

1 学習の到達目標

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1：オリエンテーション	1：探究学習の意義、目的、学習内容、年間計画や評価の方法などについて理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート、レポートなどの提出物の内容 ・学習活動への参加の仕方や態度
		2：自己分析「自己紹介シート」 3：自己分析「自分史シート」	2～3：ワークシートにそって自己理解を図る。	
		4：中間テストに向けて	4：目標を持って計画的に学習する習慣を身につけることで、進路決定に備える。	
		5	5：キャリアガイダンス	
	6：自己分析「キャリアプランニングシート」		6：ワークシートにそって自己理解を図る。	
	6	7：文化祭準備	7：文化祭の企画を立てながら自らが果たす役割について考える。	
		8：上級学校分野調査・見学校アンケート	8：2学期実施の校外学習に向けて興味関心のある分野を探る。	
	7	9：期末テストに向けて	9：評定の仕組みを知り、学習面での目標や計画を考える。	
	第2学期	9	10：自己分析「ライフプランシート」	
11：進路探究① 12：進路探究② 13：進路探究③			11～13：さまざまな資料を活用して、進路について探究し、レポートを作成する。	
10			14：小論文模試	14：小論文を書きながら、進路決定に備える。
		15：進路探究④	15：「進路のしおり」掲載の卒業生の進路先・体験を読み、進路の現状を知る。	
11		16：消費者講座	16：社会人として必要な金融の仕組みについて理解を深める。	
		17：校外学習事前指導	17：訪問先について調べ、理解を深める。	
12		18：校外学習事後指導	18：レポートを作成し、進路決定につなげる。	
		19：一般常識テスト① 20：一般常識テスト②	19～20：一般常識問題を解き、知識を深める。	

学期	月	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	21：職業ガイダンス	21：職業理解のガイダンスを受け、職業や進学先を多面的に理解できるようにし、職業観育成の助けとする。	・ワークシート、レポートなどの提出物の内容
		22：進路探究⑤ 23：進路探究⑥	22～23：さまざまな資料を活用して、進路について探究し、レポートを作成する。	
		2	24：進路探究⑦ 25：進路探究⑧	
	3		26：作文「1年間を振り返って」	26：1年間の取り組みの状況について自己評価をする。

3 評価の観点

知識・技能	探究の過程において、課題の発見と理解・解決等に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。
思考・判断・表現	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。
主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、自己の在り方生き方を考え、実現しようとしている。

4 評価の方法

<p>【課題・提出物等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学習で学んだ資料などをポートフォリオとしてファイリングして提出する。 職業調査レポート、校外学習レポート、自己分析シートなどを提出する。 1年間の取り組みの状況についての自己評価を提出する。 <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート、レポートなどの提出物の内容、発表の仕方や内容、学習活動への参加の仕方や態度及び生徒の自己評価などを踏まえて、3つの観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> 講演会、職業の調査活動、校外学習、自己分析シートを書くなどの学習活動を行う時、常に問題意識を持ち、主体的に取り組むことが大切です。 各学習で学んだ資料などを各自ファイルに綴じ込む「ポートフォリオ」形式を取り入れていますので、きちんと整理することが大切です。 学習活動の過程で、自分で考えたこと、感じたことや疑問に思ったことを記録しておくことが大切です。成長の過程をふりかえることができます。
